


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市大谷D3街区新築工事	階数	地上9F
建設地	神奈川県海老名市大谷64-1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	392 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2028年11月 予定	評価の実施日	2025年1月8日
敷地面積	3,801 m ²	作成者	(株)長谷工コーポレーション
建築面積	1,261 m ²	確認日	2025年1月8日
延床面積	8,261 m ²	確認者	(株)長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

環境品質 G

環境負荷 L

BEE = 1.0

3.0 1.5 0.5

100 50 0

0 50 100

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

標準計算

項目	建設	修繕・更新・解体	運用	オンサイト	オフサイト	合計
①参照値	10	5	40	10	10	75
②建築物の取組み	10	5	40	10	10	75
③上記+②以外の	0	0	0	0	0	0
④上記+	0	0	0	0	0	0

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR3 敷地外環境

LR2 資源・マテリアル

LR1 エネルギー

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.9

項目	スコア
音環境	3.0
温熱環境	4.7
光・視環境	3.6
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

項目	スコア
機能性	4.0
耐用性	3.1
対応性	3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.0

項目	スコア
生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

項目	スコア
建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

項目	スコア
水資源	2.2
非再生材料の	2.6
汚染物質	2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

項目	スコア
地球温暖化	4.0
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
住棟を南向き及び東向きとして計画し、可能な限り道路よりセットバックすることで圧迫感を軽減した。 アースカラーを基調とし街並みとの調和に配慮した。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
<ul style="list-style-type: none">・BELS認証取得予定につきUA値0.6以下、住棟全体のBEI値0.8以下。・住戸には底（バルコニー）及びカーテンレールを設置。・F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用している。	<ul style="list-style-type: none">・主要内装仕上げ材及び空調・給排水管について、更新必要間隔が優れたものを採用している。・入居者が多目的に利用できる集会室を共用施設として計画。	<ul style="list-style-type: none">・周辺環境に配慮した建物配置・外観デザインとし、景観創出に努めた。・敷地内は可能な限り緑化に努め、潤いある環境を創出するとともに環境負荷低減に務めた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none">・断熱等性能をZEH-M Oriented基準に適合するものとした。	<ul style="list-style-type: none">・躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。	<ul style="list-style-type: none">・自治体の緑化基準を上回る緑化に努めた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。